

日本物理教育学会 ニューズレター



2013年度 日本物理教育学会 定時総会が開催されました

2013年度の日本物理教育学会定時総会が、6月15日（土）15時より筑波大学附属高等学校で開催され、議案Ⅰ～Ⅴの全て（下記）が可決されました。

- 〔議案 Ⅰ〕 2013～2014年度理事・監事の選任
- 〔議案 Ⅱ〕 2012年度事業報告ならびに収支決算書の承認
- 〔議案 Ⅲ〕 2013年度事業計画ならびに収支予算書の承認
- 〔議案 Ⅳ〕 定款の改訂
- 〔議案 Ⅴ〕 名誉会員の称号授与

なお、定款の改訂に伴い、監事より学会運営に関して意見書が配布されました。また、総会終了後、2012年度特別会計報告と懇談がありました。定款と細則は、Web上 (<http://pesj.jp/about>) に更新しましたので、ご確認ください。加えて、後日刊行される会誌『物理教育』にも総会報告・委員会委員一覧・評議員会報告が掲載されますので、こちらもお覧ください。

引き続き開催された2013年度第1回理事会で、理事の互選により、2013年度の会長に高橋憲明（中之島科学研究所（大阪市立科学館））、副会長に覧具博義（東京農工大学名誉教授）および増子寛（元・麻布中学・高等学校）の各氏が選任されましたので合わせてご報告いたします。

2013年度 日本物理教育学会 会長より ご挨拶

このたび、2013年6月15日（土）の日本物理教育学会総会後の第1回理事会で、2013年度会長に推薦され、数多の適任者がおいでの中、引き続き会長役をお引き受けいたすことになりました。

日本物理教育学会の役割の一つに、会員の盛んな研究、実践活動に発表する機会、例えば、学会誌、研究集会、その他を用意することが挙げられますが、近年はこれらに加え、ホームページの整備、ニューズレターの定期刊行に取り組んで参りました。初等、中等教育現場での課題の大きな変動は大学の教育にも影響を与える中、昨年度は、物理教育研究を学会の一大課題とすべく、物理教育研究メイリングリストを発足させました。幸い、昨年度の監事報告では極めて前向きな評価を頂きました。多くの学会員のご努力が実ったものと喜んでおります。

今年度も学会執行部の若返り、学会活動と学会運営の強力化と透明化に力点を置き、学会誌の充実、支部や地域での研究、実践活動と本部と

学会が関連する イベントカレンダー

2013年6月3日(月)～7月16日(火)
2013年度日本物理教育学会年会
第30回物理研究大会 参加申込
津波被災地視察バスツアー申込

2013年7月7日(日)10:00～予定
新潟支部総会
於 新潟大学

2013年7月14日(日)12:30～
7月15日(月祝)13:00
第6回高校物理の授業に役立つ基本
実験講習会
於 麻布高等学校

2013年7月14日(日)～19日(金)
第12回アジア太平洋物理会議
(APPC12)
於 幕張メッセ国際会議場

2013年7月15日(月祝)14:00～
シンポジウム「アジアの物理教育」
於 麻布高等学校

2013年7月27日(土)
応用物理・物理系学会中国四国
支部合同学術講演会
於 香川大学工学部林町キャンパス

2013年7月27日(土)・28日(日)
物理教育研究会(APEJ)2013年度
夏期大会
於 新潟大学教育学部（五十嵐
キャンパス）

の繋がりを強化すること、さらに会員数増強にも取り組みたいと考えています。

折しも、本年7月幕張メッセで開催される国際会議APPC12では、物理教育セッションがこのシリーズで始めて開設されます。国内だけでなく海外の物理教育にも目を向けつつ、日本物理教育学会の発展に微力ながら寄与したいと考えております。会員皆様のご支援、ご指導をお願いいたします次第です。

日本物理教育学会会長
高橋 憲明

2013年度日本物理教育学会 年会 第30回物理教育研究大 会（仙台8月10, 11日）開 催のご案内

8月10日（土）～11日（日）に東北大学片平キャンパスにおいて、2013年度日本物理教育学会年会・第30回物理教育研究大会（大会テーマ「震災の地で考える 物理の力」）を開催いたします。

大会参加は当日でも認められますが、準備の都合上、できるだけ事前の申込みをお願いいたします。締切り間際には大変な混雑が予想されます。特に、8月12日（月）の津波被災地視察バスツアーは座席の関係で定員があります。先着順ですので、残り定員をご確認の上、お早めにお申込みください。また、当日はお盆直前の時期ですので、交通手段や宿泊に関しても早めの手配をお勧めいたします。

詳しくは、大会ウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/pesj2013/>

▶参加申込締切：7月16日(火)

※バスツアーも、この日までに参加申し込みをしてください

▶予稿提出締切：7月8日(月)

※予稿原稿の提出は、冊子印刷の関係で締切を厳守願います

▶6月28日現在の申込状況：参加 70名、原著講演 22件、ポスター 6件、懇親会 40名
バスツアー 40名（残り定員 7名）

第6回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会のご案内

物理教育研究会（APEJ）は、授業で使ってほしい定番の実験の普及と、物理教員の世代交代による新人教員の孤立防止を目的に、今年度も標記の実験講習会を開催いたします。詳細は、次のとおりです。みなさまのご参加をお待ちしております。

▶主催：物理教育研究会（APEJ） 協賛：（社）日本物理学会

共催：日本物理教育学会・（公社）応用物理学会 後援：学術図書出版社

▶期日：2013年7月14日（日）12：00受付，12：30開会

7月15日（月・祝）9：20実験開始，13：00閉会

▶会場：麻布中学・高等学校（東京都港区元麻布2-3-29，東京メトロ日比谷線広尾駅下車徒歩8分）

▶対象：現職の理科（物理）教員，理科（物理）教員を志望する学生 他

▶定員：60名（申し込み先着順）

▶参加費：一般3000円，学生1000円 他にテキスト代は実費（2000円）

2013年8月5日(月)～9日(金)
The International Conference
on Physics Education 2013
(ICPE2013)

於 チェコ共和国プラハ Don
Giovanni Conference Centre

2013年8月9日(金)

評議員会，理事・評議員懇談会
於 東北大学片平キャンパス

2013年8月10日(土)～11日(日)

第30回物理教育研究大会
「震災の地で考える 物理の力」
於 東北大学片平キャンパス

2013年8月12日(月)

津波被災地視察バスツアー
仙台駅～石巻市・女川町・東松
島市～仙台駅

2013年9月25日(水)～28日(土)

日本物理学会2013年秋季大会
於 徳島大学

学会関連イベントは、以下のサ
イトでも紹介しています

<http://pesj.jp/event>

- ▶内容：7月14日（日） 12：30～13：00開会式
 13：00～17：40各テーマ40分で6テーマ実施（途中、休憩2回あり）
 18：20～広尾で懇親会（会費4000円）
 7月15日（月祝） 9：20～12：20各テーマ40分で4テーマ実施（途中、休憩1回あり）
 12：20～13：00閉会式
- ▶実験項目：力のつり合い、運動の解析（コンピュータ計測）、台車に働く力と運動、力学的エネルギーの保存、ウェーブマシン、縦波の定常波、箔検電器と電荷の移動、電磁誘導、霧箱、基礎技術講習
- ▶申し込み：メールでお申し込みください。“実験講習会申し込み”と明記の上、氏名、勤務先（あるいは在学先）、連絡先をお知らせください。申し込み受け付けメールアドレスは、[kita \(at\) hs.keio.ac.jp](mailto:kita(at)hs.keio.ac.jp)です（アドレス中の (at) を@に変換してください）。
- ▶問合せ先：麻布高等学校 加藤義道（電話 03-3446-6541, F A X 03-3444-2337）
- ▶その他：宿泊の手配は、各自でお願いいたします。

第12回アジア太平洋物理会議市民公開講座『宇宙の果てから医療の実現まで』開催のご案内

アジア太平洋物理会議（APPC）は創設以来30年目を迎え、アジア太平洋地区で最大の物理学分野の国際会議で、今回初めて日本で開催されます。2013年7月14日（日）～19日（金）に幕張メッセ国際会議場で、第12回アジア太平洋物理会議（APPC12）が開催されるのを記念し、物理学の最新の成果が日常生活にどのようなかわりを持つかを分かり易く解説することを目指す公開講座『宇宙の果てから医療の実現まで』が企画されました。超大型天体望遠鏡、光格子原子時計、重粒子線がん治療の3分野について第一線の専門家が講演しますので、是非ご参加ください。

当日、直接の申し込みも可能ですが、7月10日（水）までに次のサイトを通じてwebから申し込んでいただきますようお願いいたします。

<http://www.jps.or.jp/APPC12/public.html>

シンポジウム「アジアの物理教育～現状及びこれから目指す道」開催のご案内

7月に幕張メッセ国際会議場で開催されるアジア太平洋物理会議（APPC12）で物理教育のセッションが初めて開かれるのを機に、アジアの物理教育の現状を学び議論する場を企画しました。アジアの4か国の物理教育の現状と課題についてご講演いただき、その後、ディスカッションを行います。物理教育に関わる方々にお集りいただいて議論をするとともに、関係者同士の国際的な交流が深まることを期待しています。講演等は英語になりますが、資料をできる限り翻訳して用意する予定です。ご参加をお待ちしております。

- ▶主催：NPO法人理科カリキュラムを考える会
- ▶共催：日本物理教育学会・物理教育研究会（APEJ）・東海大学・CIEC（コンピュータ利用教育学会）
- ▶日時：2013年7月15日（月祝）14：00～18：00シンポジウム、19：00～21：00物理教育ディナー
- ▶場所：麻布高等学校大会議室
- ▶参加費：無料（ただし19：00～の懇親会は会費制です）
- ▶プログラム：
 14：00～17：00 アジア各国の物理教育研究者による講演 Junehee Yoo氏（韓国）
 LUO Xingkai氏（中国）・Ivan B.Culaba氏（フィリピン）・滝川洋二氏（日本）
 17：00～18：00 ディスカッション「アジアの物理教育がこれから目指す道」
 19：00～ 懇親会
- ▶お問い合わせ：NPO法人理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎
 メール [jimu \(at\) rikakari.jp](mailto:jimu(at)rikakari.jp)（アドレス中の (at) は@で置き換えてください）

物理教育研究会 (APEJ) 2013年度夏期大会開催のご案内

物理教育研究会 (APEJ) では、2013年度夏期大会 (テーマ「生徒の活動から引き出す物理の基礎～ICTの活用などを含めて～」) を開催いたします。APEJのウェブページで詳細をご確認の上、お申し込みをお願いいたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

http://www.apej.org/13/2013kakitaikaianai_1.htm

▶主催：物理教育研究会 (APEJ)

共催：日本物理教育学会新潟支部・新しい理科教育を研究する会

実行委員長：柿沼藤雄 (新潟工科大学)，副委員長：鈴木亨 (筑波大学附属高校)

事務局：水澤陽子・梅田智子・西脇正和・興治文子

▶期日：2013年7月27日(土)，28日(日)

▶会場：新潟大学教育学部 (五十嵐キャンパス)

http://www.niigata-u.ac.jp/top/access_ikarashi.html

▶参加費：2000円

▶プログラム (案)

7月27日 (土) 12:00受付，12:30開会，12:45～17:00研究発表等，18:00～懇親会

7月28日 (日) 9:00～研究発表等，12:30～昼食休憩，13:00～実験講習等，16:30閉会

※28日の終了時間等，プログラムは参加状況により早くなる可能性があります。

▶参加発表登録 (原著講演)

参加及び発表を予定されている方は，次の1～8の各項目についてメールでお知らせください。宛先は，次のとおりです。メールの見出しを「APEJ大会登録」とお書きください。

e-mail: [okiharu \(at\) ed.niigata-u.ac.jp](mailto:okiharu(at)ed.niigata-u.ac.jp) (アドレス中の (at) は@で置き換えてください)

1. 氏名 2. 所属 3. 連絡先 (☎番号，住所，メールアドレス，電話)
 4. 参加する日 (ア) 7月27日と28日両日参加 (イ) 27日のみ参加 (ウ) 28日のみ参加
 5. 懇親会 (ア) 参加する (イ) 参加しない
- ※ 発表を予定されている方は次の項目もお知らせください。
6. 発表題目 7. 発表内容の簡単な紹介 8. 発表を希望する日

物理教育研究メーリングリスト(ML)が設定されています

この物理教育研究MLは，本会正会員 (学生会員を含む)であればどなたでも参加できます。

参加を希望する会員は，subject欄に「per-ml参加申し込み」，本文として，日本物理教育学会会員番号と氏名を記載したe-mailを，MLへの投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

[per-ml-adm \(at\) pesj.jp](mailto:per-ml-adm(at)pesj.jp) ただし，(at)は@で置き換えて下さい。

また，このMLの詳細については次のウェブサイトを参照してください。

http://pesj.jp/research/ml_per

[事務局より] 夏の研究大会では一年ぶりにお会いする方々も多く，日頃の研究の情報交換が楽しみです。ニューズレターで広報したい行事などありましたら7月15日までに[news\(at\)pesj.jp](mailto:news(at)pesj.jp) ((at)は@で置き換えてください) へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し，記述を編集いたします。

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明
編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会
発行日：2013年7月1日